

校長室の窓から

～夢の扉 第49号～故郷編2

R 3. 3. 22 (月)

世の中が少しずつ動き始めました。

文責 学校長



～春の甲子園（センバツ大会）も開幕。ただ第4波の心配も～

1 進路講演会(1・2年)を開催しました。

3月17日(火)に1年生、18日(水)に2年生を対象に「進路講演会」を開催しました。講師にベネッセコーポレーション顧問の田川祐治先生(元長崎西高校校長)をお迎えして「志高く夢実現に向け充実した毎日を」(1年)「いよいよ3年生 覚悟を決め執念・挑戦」(2年)と題して、熱いメッセージとエールを贈っていただきました。先生には3年生に対しても「100日前講演会」で気合いを注入していただき、今春の進学実績アップにつながりました。1・2年生諸君、田川先生のメッセージを自宅の勉強机の前に貼り、今の強い気持ちと気合いを忘れずに受験戦争に突入しましょう。



2 吹奏楽部の定期演奏会を開催しました。

昨日(3月21日)、吹奏楽部の定期演奏会が武雄市文化会館で行われました。昨年度はコロナ禍で中止となっていたため、2年ぶりの開催となりました。広告掲載にご協力いただいた会社・企業・店舗等の皆様、ご理解・ご協力誠にありがとうございました。また、開催を支えていただいた3年生やOBの皆様にも感謝申し上げます。



3 高校野球・バレーボール男女も開催されました。

昨年は様々な春の大会が悉く中止となっていました、今年は少しずつ大会やイベントが開催され始めました。ただ、第4波の襲来も心配されます。くれぐれも感染防止策は各個人レベルでも怠りなく講じてください。



4 今週の話事成語・・・「陰徳有る者は必ず陽報有り」

人に知れぬように良い行いをする人には、必ずよい報いがあるということ。(出典：『淮南子』・人間訓より)

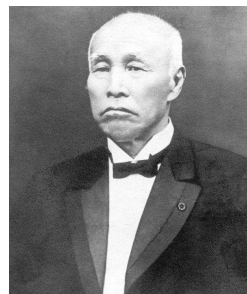
【由来】「陰徳」は、陰で得を積むこと。「陽報」とは、はっきりと現れるよい報いのこと。『淮南子・人間訓』に「陰徳有る者は、必ず陽報有り。陰行有る者は、必ず昭名有り(人知れず徳を積む者には必ず誰の目にも明らかなよい報いがあり、隠れて善行をしている者には必ずはっきりとした名誉があるものだ)」とあるのに基づく。(「故事ことわざ辞典」)

5 今週の名言・・・大隈重信(佐賀県出身)の言葉です。

○諸君は必ず失敗する。成功があるかもしれませぬけど、成功より失敗が多い。失敗に落胆しなさんな。失敗に打ち勝たねばならぬ。

○人間が生きるのは、社会の利益のために存在するということだ。ただ生きてるのではつまらない。

○「長生五力条」・・・1、怒るな 2、愚痴をこぼすな 3、過去を顧みるな 4、望(のぞみ)を将来に置け 5、人のために善をなせ



【解説】幕末佐賀藩の偉人の中では一番の出世頭と言えるのが、この大隈重信侯であろう。佐賀県出身者で唯一総理大臣にまで登りつめた人であり、早稲田大学の創始者としても有名です。今回紹介している言葉は生涯にわたって様々な功績を残した人の重みが伝わってきます。特に三つ目の言葉は私自身も肝に銘じておきたい言葉です。ふるさと佐賀から二人目の総理大臣が輩出されるのはいつの日だろうか。願わくは武高生の中から第二の大隈が出ることを期待したい。

【大隈重信について】佐賀藩士の長男として生まれ、7歳で藩校「弘道館」に入学、優秀な成績を修めるも、漢学を中心とした閉鎖的な教育に反発、南北寮の大喧嘩の首謀者と目され、18歳で館を離れた。その後は蘭学寮へ入学し洋学を学ぶ傍ら、義塾同盟で尊王思想を学び、副島種臣と共に脱藩して京に向かうなど、志士活動を行う。明治新政府では外国事務局判事に任じられると、キリスト教徒の処分問題でイギリス公使パークスと激しい舌戦を繰り広げた。その後は大蔵卿、外務大臣、農商務大臣などを歴任し、グレゴリオ暦の導入、鉄道の敷設、貨幣制度の整備、東京専門学校(後の早稲田大学)の開校など、今日に残る様々な功績を残している。明治14年の政変により下野後、大隈は立憲改進黨を結党。その後、第一次伊藤博文内閣での外務大臣就任などを経て、1898年に板垣退助と共に隈板内閣を組閣、総理大臣になる。これは日本初の政党内閣と言われる。この内閣は半年程度で解散になるが、1914年には再び総理大臣に就任、2年後に79歳で解散となるが、これは総理大臣としては最高齢である。(参考：「佐賀市観光協会」より)

6 入試によく出る漢字・・・『必須ベスト100』から・その5 いくつ書けますか？

- ①場違いな扱いにトウワクしていた。 ②邪魔な物をハイジョする。 ③はなはだしいブジョクを受けた。
④物価のボウトウで生活が苦しくなる。 ⑤紳士的な彼にしてはヤバンな行動だ。 ⑥彼は全校生徒のモハンだ。
⑦ついに目的にトウタツした。 ⑧都会的でセンレンされた服装。 ⑨神殿はソウゴンな雰囲気満ちていた。
⑩政府は貯蓄をショウレイした。 ⑪これさえあれば大願はジョウジュする。 ⑫彼はショウガイ歌を愛しつづけた。
⑬ジバン沈下のおそれがある。 ⑭シヤの狭い見方をしてはいけない。 ⑮食前に手を洗うシュウカン。
⑯注意がサンマンで落ち着かない。 ⑰左右のキンコウを保つ。 ⑱キリツ正しい生活をする。
⑲表面のキョショクばかりで実体が無い。 ⑳会社側の申し入れをキョヒした。

7 今週の一冊・・・柳川範之の『東大教授が教える独学勉強法』（草思社文庫）です。

いきなり勉強してはいけない。まず、正しい「学び方」を身につけよう。勉強は中身だけではなく、どうやってするものなのか、という学び方をもっとマスターする必要があります。本書は著者の長年にわたる独学経験に基づき、「自分で目標を見つけ、問いを立て、集めた情報や知識を自分の中に落とし込みながら考えを深め、それを現実に応用していく」という勉強の全工程について、具体的なやり方を体系的にまとめたものです。（参考：本書裏表紙説明より）

【解説】高校に行かず大学は通信制、独学で東大経済学部教授になった著者が教える究極の勉強法。テーマ設定から資料収集、本の読み方、ノート・メモのとり方、成果のアウトプットまで自分一人で行える本格的な勉強のコツが身に付く一冊。学者・研究者になりたい人はもとより、教養を深めたい人、趣味を究めたい人、資格試験合格を目指す人、もう一度学び直したい人等々、あらゆる人の知識欲と向学心に応える一冊です。

【作者・柳川範之氏について】1963年生まれ。東京大学経済学部教授。中学卒業後、父親の海外転勤にともないブラジルへ。ブラジルでは高校に行かずに独学生活を送る。大検を受け慶応義塾大学経済学部通信教育課程へ入学。大学を卒業後東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士(東京大学)。主な著書に『法と企業行動の経済分析』（第50回日経・経済図書文化賞受賞、日本経済新聞社）、『契約と組織の経済学』（東洋経済新報社）など。

（参考：本書表紙裏の著者紹介文より）

8 日本全県の名所とスイーツめぐり…第49回は佐賀県(佐賀市)です。

○名所（参考：「ぐる旅」「じゃらん」その他より）

◆佐賀城本丸歴史館・・・幕末・明治維新記には日本近代化を先導する存在であった佐賀城の本丸御殿の再建が行われ「佐賀城本丸歴史館」としてH16年8月開館しました。木造復元建物としては全国最大級。日本で初めて本丸御殿の一部を復元した建物で、2500平方mの規模を誇ります。日本の近代化を先導した「幕末・維新期の佐賀」をテーマに、佐賀城の変遷や佐賀藩の科学技術、偉人の功績などについて分かりやすく展示、紹介しています。佐賀城本丸御殿は、天保9（1838）年に佐賀藩10代藩主鍋島直正によって再建されました。1993・94年の発掘調査で、天保期の本丸御殿の遺構がきわめて良好に残されていることが判明し、調査成果や古記録などをもとに御殿が復元され、佐賀県立佐賀城本丸歴史館として開館しました。

◆筑後川昇開橋・・・筑後川昇開橋は、鉄道省佐賀線の鉄道橋梁「筑後川橋梁」として建設され、1935年（昭和10年）竣工、同年5月25日に開業しました。舟運との共存のため、橋の一部が可動式となっています。東洋一の昇開式可動橋で、旧国鉄佐賀線廃止後、今は「筑後川昇開橋遊歩道」として生まれ変わりました。昭和62年3月廃止、平成8年4月遊歩道が開通しました。

○スイーツ・土産

【佐賀錦】(村岡屋)小豆や栗が入った「浮島」と呼ばれるふんわり生地を美しい層をなすバームクーヘンで挟んだ和洋折衷スイーツです。地元の織物である「佐賀錦」の気品ある華やかさと風合いをイメージして作られた棹菓子で、好きなサイズに切っていただきます。「洋風であり和菓子であり、昔からある大好きなお菓子」と佐賀県民に親しまれ、佐賀の手土産、堂々の1位に。

【白玉饅頭】(吉野屋・池の家・ときわ家)米どころ佐賀ならではのお菓子で、川上峡の近辺に数件の店が並んでいます。それぞれ原料も微妙に違い、食べ比べてみるのもおすすめです。米粉を使った饅頭で、中には甘さ控えめの餡が入っています。つるとなめらかで、もちもちの食感が人気の秘密。夏場は冷水で冷やしたり、かき氷にのせて食べるのもおすすめです。

9 保護者の皆様へ…新年度に向けた準備をよろしく願います。

①この時期をどう過ごさせるかが大きな鍵になります。

春休みは補習がありませんが、やらなければならない課題や読んでおくべき本がありますので、真摯に取り組ませてください。世の中がのんびりした気分になりがちな今こそ全国の受験生に差を付けるチャンスと捉えてほしいと思います。

②親子で覚悟を決めることが大切です。

1年は文理選択クラスが決定し、2年は志望大学別クラスが決定します。それぞれの思い描く進路実現に向けて親子で覚悟を決めて夢を勝ち取る戦いが始まります。特に2年生は、大学入学共通テストまで残り229日です。

③経済的な支援計画も不可欠です。

大学に4年間通わせるためには経済的な支援も不可欠です。具体的な支援プラン(家賃等)を立てておいてください。

【表面の問いの答】◇ He who lendeth to the poor, gets his interest from God. (貧しき人に貸す人は神より利益を得る)

◇ He that sows good seed shall reap good corn. (よい種を撒く者はよい麦を収穫する)

- | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ①当惑 | ②排除 | ③侮辱 | ④暴騰 | ⑤野蛮 | ⑥模範 | ⑦到達 | ⑧洗練 | ⑨荘厳 | ⑩奨励 |
| ⑪成就 | ⑫生涯 | ⑬地盤 | ⑭視野 | ⑮習慣 | ⑯散漫 | ⑰均衡 | ⑱規律 | ⑲虚飾 | ⑳拒否 |